

令和3年度 国際関係学部 高大連携出張講義 講義テーマ（国際関係学科）

教員名	講義テーマ	依頼に際しての注意事項
前山 亮吉	①政治を比較するとはどういうことか 歴史を探る ②日本政治の	特になし
坂巻 静佳	国際法から世界をみる	国際法という観点から最近のニュースを捉えることを通じて、①国際法とは何か、②どのようにすれば物事を法的に評価できるのかを学んでいきます。これまでとりあげたニュースとしては、国際法上の島の地位の問題（沖ノ島等）やダイヤモンドプリンセス号への対応等についてがあります。パワーポイントを使用して講義するため、必要な機器類の用意をお願い致します。対面での実施の可否は、国、県および静岡県立大学の活動指針等により異なります。Zoom等での同時双方向授業に対応します。水曜日はお引き受けできません。
宮崎 晋生	①国際関係学の「入り口」としての多国籍企業 ②「プラットフォーム」「Big Tech」と国際関係	PCを使用しますので、プロジェクターとスクリーンを用意して下さい。ライブ遠隔講義形式も対応可能です。
佐藤 真千子	トランプ後のアメリカバイデン政権の課題ー	パワーポイントを使用するためのプロジェクター、スクリーンの準備をお願いします。同時双方向型オンライン講義にも対応可能です。
飯野 光浩	①高校生向けの開発援助入門ー開発協力白書から日本の援助を考えるー ②高校生向けの国際貿易入門ーアメリカ新政権下における貿易について考えるー	①日本の外務省が出している開発協力白書から日本の援助の特徴を講義します。進路指導や大学・学部紹介の一部ではなく、独立したコマで左記テーマに興味のある高校生向けに講義をすることを希望します。また、パワーポイントを使用しますので、プロジェクターとスクリーンを用意して下さい。 ②トランプ前政権とバイデン新政権の貿易に対するスタンスの比較を通じて、貿易をめぐる問題を経済の観点から講義します。進路指導や大学・学部紹介の一部ではなく、独立したコマで左記テーマに興味のある高校生向けに講義をすることを希望します。また、パワーポイントを使用しますので、プロジェクターとスクリーンを用意して下さい。
小窪 千早	欧州統合の歴史と現状ーEUとは何か、EUの直面する課題ー	パワーポイントを使用するので、必要な機器類の準備をお願いします。進路指導や大学紹介の一部ではなく、独立したコマで左記テーマに興味のある高校生向けの講義をすることを希望します。対面を基本としますが、委細相談のうえ双方の環境が合えば遠隔も可です。
森山 優	「国際関係」の前提ー近代国家の成立ー	特になし

古川 光明	スポーツを通じた平和と結束－南スーダン独立後初の全国スポーツ大会とオリンピック参加の記録－	開発途上国における国際協力の現場でどのような援助が行われているのかを南スーダンへのスポーツを通じた平和構築支援の事例を用いて紹介します。オリンピックに関連する内容を含むため、東京五輪開幕前の実施が望ましい。なお、出講は8月、2月、3月以外および月曜日、火曜日以外ならば可能ですが、水曜日が望ましい。また、コロナ感染状況によっては、オンラインによる講義（遠隔講義）となりますのでご了承ください。
浜 由樹子	国家が崩壊するとはどういうことか？－旧ソ連地域の事例から－	パワーポイントを使用して講義するため、必要な機器の用意をお願い致します。Zoomを使用した同時双方向型授業にも対応可能です。
石川 義道	世界貿易機関（WTO）の役割	パワーポイントを使用して講義するため、必要な機器類の用意をお願い致します。
山下 光	現代の紛争と国連平和維持活動	パワーポイントを使用する予定なので、投影できる設備の準備をお願いいたします。
北野 嘉章	国連安保理の仕組みと安保理改革	いわゆる「拒否権」の存在など国連安保理の現在の仕組みと、日本などの諸国がそれを変えようと求めてきた安保理改革の動向について概要をご紹介します。講義が可能なのは、出講の場合は月曜日以外（パワーポイントの使用に必要な機材の準備をお願い致します）、zoom等による遠隔の場合は全日です。
山本 健介	中東・イスラーム政治入門	9.11同時多発テロや欧州難民危機に象徴されるように、中東地域は現代世界を揺るがす「危機の震源地」になっています。今日の国際情勢を見通す上で、この地域の政治・経済・紛争について理解を深めることは必須であると言えるでしょう。この講義では、宗教や文化の側面も含めた中東地域の基本について広く学びます。原則として、月曜日・金曜日であれば出講が可能です。地図や写真、映像などの資料を使用しますのでパワーポイントが利用できる設備の準備をお願いします。
犬塚 協太	男女共同参画社会とは何か	男女共同参画社会とは何か、なぜその実現が必要なのか、性別にとらわれないすべての個人が多様な生き方を認め合う未来を実現するために、高校生は何を学び行動すべきか、といったことを、ジェンダー平等の視点を中心にできるだけわかりやすく伝えます。身近な学校や家族の生活から、将来の仕事、日本や世界の動きまで、どこにウエイトを置いてお話しするかはご相談に応じます。パワーポイントを使用しますので、必要な機器のご用意をお願いします。

石井由香	東南アジアの国際労働力移動	東南アジアは人の国際移動に関してさまざまなことを考えさせてくれる地域です。東南アジアには移民労働者の受入国、送出国の両方があります。この講義では、シンガポールの事例を中心に東南アジアが世界の国際労働力移動のなかでどのような位置づけにあるのか、移動の実態はどうか、受入国、送出国がどのような問題に直面し、その問題にどう政策的に、また社会的に対応しようとしているのかをご紹介します。日本においても外国人労働者の受け入れは重要な課題です。日本のこれからを考える上でも、参考になるようなお話をできればと思います。講義時間は50分程度で、パワーポイントを使用予定です。出講が可能なのは、8月、9月以外の、原則として木・金です。
津富 宏	生きづらさをのりこえる地域づくり	人々の生活が十分に保障されない社会において、人々の生きづらさが増えています。生きるのが苦痛なため命を絶つ人々がいたり、非正規の仕事しかないため家族が持てない人たちがいたり、一人暮らしのため孤独死する人たちがいます。こんな時代を生き抜いていくための地域づくりについて、生徒の皆さんと一緒に考えたいと思います。授業は、ワークショップ形式で行いますので、机と椅子の動く教室が必要です。
	キャリアをつくり、社会をつくる	本学で担当している、キャリア概論の内容を凝縮してお届けします。働くということを通じて、自分や社会のあり方、そして、大学生生活の過ごし方を考えてもらえればと思っています。講義時間は、最低60分です。ワークショップ方式で行いますので、広めの部屋で、机が動かせたほうがいいでしょう。楽しんでください。
青山 知靖	多言語コミュニケーションのためのパソコン入門	日本を訪れる外国人観光客や日本に暮らす在留外国人が年々増えています。言葉の壁を乗り越えて、外国人にとって過ごしやすく暮らしやすい環境を作ることが、日本が直面している課題の一つになっています。この課題に取り組むために、外国語の入った文章をパソコンで作成するための基礎的な知識と技術を習得しましょう。取り上げる外国語はスペイン語ですが、予備知識は不要です。英語をほんの少しだけ読み書きすることができて、マウスとキーボードを使ったことがある人なら、誰にでも習得できます。知識と技術を習得するためには練習が必要です。MS Wordが使えるパソコンを教室に持ち込んで、先生や代表の生徒さんが練習する様子をスクリーンや大型テレビで見ることができるようになってください。もちろん、先生と生徒のみなさん一人ひとりがコンピューター実習室で練習できるのが理想的です。出講可能なのは水曜日です。9月以降であれば金曜日も出講可能です。他の曜日については応相談とします。
高畑 幸	コンビニで外国人が働く理由～「共生」時代の日本社会	日本の人口は減少する一方、日本で暮らし働く外国人は増加しています。コンビニの弁当や総菜、宅急便など、私たちの暮らしの「便利さ」は外国人労働者に支えられているのです。2017年から日本は外国人労働者の受け入れを大幅に拡大しており、今後も日本で数年間、あるいは永住も視野に入れて暮らす人びとが必然的に増えます。「外国にルーツを持つ人たち」との共生社会を築き維持するために、私たちは何をすべきか一緒に考えましょう。、詳細についてはご相談に応じます。講義時間は50分。パワーポイントを使います。Wifi環境、プロジェクタ、スクリーン、スピーカーをご用意ください。zoomを使用しての遠隔授業も可能です。出講は8月、2月、3月以外の月曜日ならば可能です。

<p>孫 暁剛</p>	<p>災害と共に生きる叡智をアフリカの遊牧民から学ぶ</p>	<p>近年、グローバルな気候変動にともなう異常気象や自然災害は日常的に起きるようになりました。「観測史上最大級」の台風や豪雨・豪雪が毎年のように発生し、「想定外」の大きな被害をもたらします。しかし、災害の起因は自然の極端現象であっても、被害には人為的な要素が多く含まれています。防災や災害対策は専門家だけが考えるのではなく、私たち一人一人が日常生活のなかで、「災害を想定した」考え方や行動が必要です。アフリカの灼熱な砂漠に暮らす遊牧民は、つねに旱魃や家畜の伝染病や略奪などの危険と隣り合わせしながら、たくましく・自由に生活しています。その遊牧民を対象としたフィールドワークから、「災害とともに生きる」ことについてみなさんと一緒に考えていきたいと思います。アフリカの自然や人々の暮らしと文化のスライドショーを上映しながらお話しします。8月、9月、3月以外の月曜と金曜は可能です。また、Zoomを利用したオンライン講義も可能です。</p>
<p>渡邊 聡</p>	<p>常識や数字にダマされない</p>	<p>●人の判断はしばしば不完全で、合理性を欠いたり、偏ったものになりがちです。人々が「当たり前」、「常識」と思っていることが、実際に調べてみると間違っていたということよくあります。人の判断が不完全なことを自覚することも大切ですし、実際に調査してみることも大切です。また、調査の結果というのは、調査のやり方や条件によって大きく異なってきます。結果の数字だけを見て、それをうのみにすることもできません。常識や数字を疑うこと、批判的に考えることの大切さに気づききっかけとなるような授業をしたいと思います。</p> <p>●私は国際関係学部の教員ですが、授業の内容は国際関係や言語文化に関するものではありませんので、その点はご了解ください。</p> <p>●パワーポイントを使用しますので、必要な機器のご用意をお願いします。</p> <p>●8月までは毎日、大学の授業がありますので、実施時期は、9月以降でお願いします。</p>